

# 臨床検査技師になるには

## 臨床検査技師を目指すあなたへ

ご来訪いただきありがとうございます。

すでにご承知のことと思いますが、臨床検査技師は病院をはじめ保健所や衛生研究所、健診センター など多くの職場で活躍しています。

## 臨床検査技師になるためには

臨床検査技師になるには高等学校を卒業後、大学や専門学校で臨床検査技師の養成課程を修め、国家試験に合格しなければなりません。



## 学校では、こんなことを勉強します

### 教育制度と教育課程

病気の早期発見などに大きく貢献しています臨床検査には必要な知識と技術を身につけ、人間性豊かなチームの一員として医療に参加し、保健、福祉を支えるために学ぶ内容は、表に示した授業科目と時間数が厚生省の指定規則により決められています。指定された履修単位は93単位以上になり、教養・基礎教育の充実や先進検査技術が学べるようになっていきます。また、臨床専門科目の一部を病院の現場で実際に学ぶ「臨床実習」7単位も義務づけられています。

### 病院での役割

患者さんが医師の診療を受ける時に「頭が痛い」「熱がある」など様々な症状を訴えると、医師は「これこれの検査をしてみましょう」と言いながら検査伝票で必要な指示を出します。これが臨床検査です。医師は様々な臨床検査から得られたデータを解析して、患者さんの病気を診断し、治療方針を決定します。これを科学的に診断作法と言います。つまり、臨床検査は治療の入り口でもあり、病気の経過観察治療効果の判定、重大な病気の早期発見などに大きく貢献しています。

社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
<http://www.jamt.or.jp>